

# しまねの自然

vol.51  
令和4年3月

## 巻頭特集

三瓶小豆原埋没林公園  
(さんべ縄文の森ミュージアム)

大型プロジェクター導入  
展示・ガイダンス機能が大幅リニューアル

三瓶自然館  
(サヒメル)

ビジュアルドームがリニューアル



### 【特集1】

三瓶小豆原埋没林公園(さんべ縄文の森ミュージアム)  
大型プロジェクター導入  
展示・ガイダンス機能がリニューアル……………2

### 【特集2】

三瓶自然館(サヒメル)  
ビジュアルドームがリニューアル……………3

### 【お知らせ】

しまねの自然公園満喫プロジェクト  
WEBサイトをリニューアル……………3

### 【お知らせ】

三瓶自然館(サヒメル)  
開館30周年……………4

### 【研修】

自然観察指導員研修会……………4

### 【自然観察会】

唐墨城跡自然観察会……………5

### 【事業紹介】

自然公園協会事業……………5

### 【コラム】

自然公園を活用した誘客促進補助金の活用事例……………6

### 【事業紹介】

隠岐ユネスコ世界ジオパークの活動紹介……………6

### 【自然観察会】

しまねの自然観察会……………7

### 【表彰】

自然保護関係表彰受賞者の紹介……………8

### 【お知らせ】

三瓶自然館(サヒメル)春の企画展……………8

【発行】 島根県自然公園協会

〒690-8501 島根県松江市殿町128番地 島根県自然環境課内  
TEL0852-22-6377 FAX0852-26-2142

しまねの自然HP



写真: 船通山のカタクリ  
写真提供: 島根県自然保護レンジャー 野津敏明さん

# 三瓶小豆原埋没林公園 さんべ縄文の森 リニューアル!

さんべ縄文の森ミュージアムでは令和4年3月に解説展示の機能を向上させるためにリニューアルを行いました。

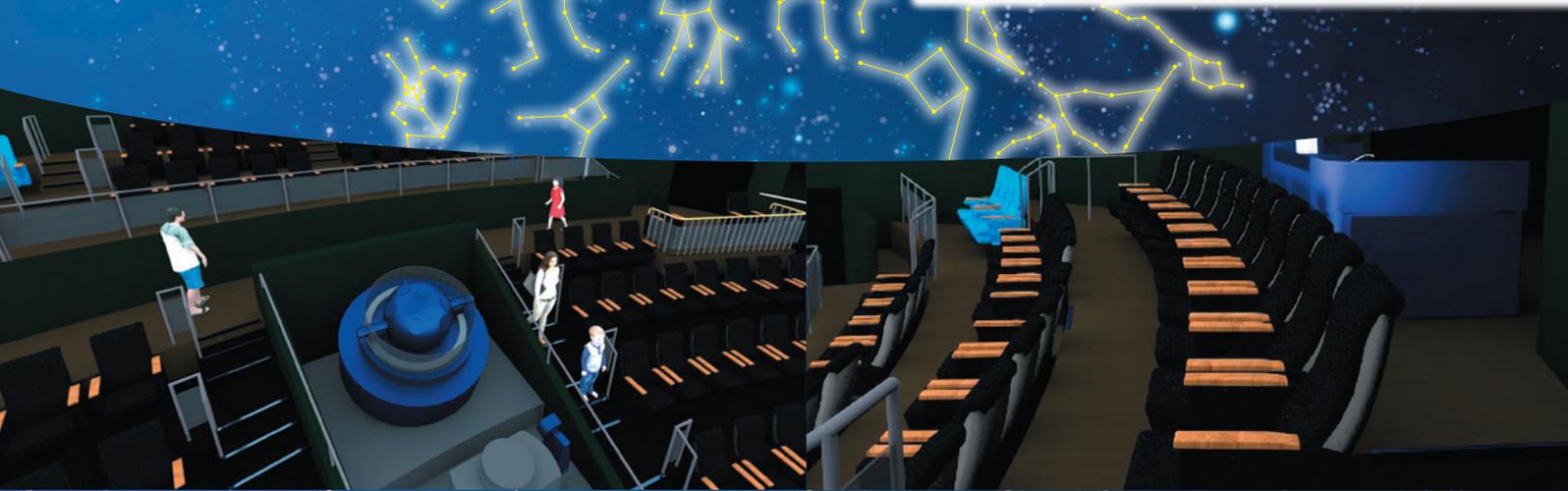
ガイダンス棟では、彩豊かな解説パネルや立体模型を使った解説映像を導入し三瓶山の火山噴火から埋没林形成までの奇跡的な経緯をたどることができます。

また、展示棟では最新CGを駆使した映像を大型プロジェクターにより壁面投影することで、4,000年前の火山活動や小豆原周辺の森を感じることができます。



4000年前の三瓶小豆原周辺の  
縄文の森が蘇る

# 三瓶自然館サヒメルの ビジュアルドームが リニューアル!



## ★ point 1

星や映像をより美しく  
引き立たせるドームス  
クリーン

## ★ point 2

広々とした足元空間を  
実現した座席

## ★ point 3

ファミリーやペアでご  
利用いただけるペア  
シート

## ★ point 4

日本語・英語・ポルト  
ガル語に対応!スマー  
トグラスを用いた字幕  
システム

※対応する番組には限りがあります

## ★ point 5

ご自身の補聴器を調  
整することで、ナレ  
ーション等がより聞こえ  
やすくなるシステム

## しまねの自然公園 満喫プロジェクト

## WEBサイトを リニューアルしました!



### 島根県内全域の自然公園を紹介

県内の国立公園に加え、国定公園、県立自然公園、中国自然歩道  
についての詳しい情報を新たに掲載しています。



### 体験プログラム情報を提供

色んな体験を通じて、自然を満喫しませんか?



### 新コーナー!「サポーターからのお便り」

自然保護レンジャーが、旬な季節の情報をお届けします。



しまね満喫PJ特設サイトへ  
GO!



# 祝 サヒメル開館30周年!!



三瓶自然館サヒメルは、自然との共生とふれあいをテーマに、県内に生息する生き物の生態や環境、三瓶山の形成など、島根県の自然環境や自然史について、体験しながら学ぶことができる施設として、平成3年にオープンし、令和3年10月に開館30周年を迎えました。

この間、開催された企画展は70回を超え、県内外から延べ約350万人の方々にご来館いただくなど、長きにわたり県民や地域の皆様に親しまれてきました。

7月17日にサヒメルビジュアルドームにおいて開催された記念式典は、大田市長をはじめ、地元関係者・関係団体の皆様、開館当初から運営を支えてこられたしまね自然と環境財団の皆様が出席され、地元の小中学生の太鼓の演奏を皮切りにタイムカプセルの開封など、30年の歴史を振り返る感慨深い時間となりました。

〈島根県自然環境課〉



夏の特別企画展で賑わうサヒメル

第  
575  
回

## NACS-J自然観察指導員講習会 in 三瓶青少年交流の家

令和3年6月19日(土)・20日(日)の2日間で「自然観察指導員講習会」を開催しました。(公財)日本自然保護協会(NACS-J)主催、国立三瓶青少年交流の家、島根県自然観察指導員連絡協議会及び島根県共催で、全国の講習会としては575回目、島根県では5年ぶり11回目の開催となりました。

自然観察指導員とは、地域に根ざした自然観察会を開き、自然を守るための仲間をつくるボランティアリーダーです。“自然観察をする→たくさんの人に自然の魅力に気づいてもらう→自然を大切にしようと思う仲間を増やす→豊かな自然を次の世代に引き継ぐ”という自然保護につなげる役割を担っています。

講習会は、講義と野外実習から成っており、講義では自然保護や自然観察の考え方や手法を学び、野外では自然観察の素材を探し、観察会を企画し、他の参加者に向けて実際に自然観察会を行いました。

今回の講習会で新たに48名の自然観察指導員が誕生し、現在島根県内では176名の方が各地で活躍されて

います。島根の豊かな自然を次の世代へ引き継いでいくために、島根県では自然保護や自然観察の担い手の育成を支援しています。



屋内講義の様子



野外実習の様子

## から すみ じょう あと 唐墨城跡自然観察会

奥出雲町

今から約450年前、それまで尼子の統治下にあった奥出雲町阿井地区は、広瀬にある富田城の落城により毛利の支配下となりました。唐墨城は、毛利の部下である伊達因幡守信重が上阿井の川東に築いた居城です。

唐墨城跡を楽しむ会が発足したのは平成29年です。有志により唐墨城跡への登山道の整備を行い、看板設置の他、測量を行い地形図を作成しました。また、見学会や散策・健康ウォーキング、郷土史家の先生による唐墨城の歴史についての勉強会など、歴史と城跡の

自然景観を活かした活動を行っています。

昨年は、幼児園児・小学校児童などを対象に数回、現地学習会を実施しています。唐墨城にまつわる阿井の歴史や自然について、自然公園指導員の先生から話を聞き、当時の姿に思いを募らせました。

唐墨城跡を楽しむ会では、年に2~3回の草刈り・登山道の整備を行っています。今後も誰もが気軽に楽しめる城跡を目指し活動を続けていきます。



島根県自然公園協会では自然観察会を実施する際の講師への謝金等の支援をしています。

## 「守ろう!しまねの自然」 ワッペン

当協会では、自然保護の啓発を行うためにワッペンを作成し、各市町村を通じて、自然観察会等の各種行事において参加者に配布しています。

今年度のデザインは、しまねレッドデータブック絶滅危惧Ⅰ類の【ヤイロチョウ】です。その名のとおり体色に特徴があります。

森の妖精と言われるヤイロチョウは、多彩で美しい羽を持つことから「八色鳥」の名があります。



## しまねの自然 お宝MAP

当協会では、県内各地での自然環境保護活動等に役立てていただくため、自然公園のほか自然環境保全地域、中国自然歩道、みんなで守る郷土の自然選定地などを1枚の地図にまとめています。

島根県には自然のお宝がたくさんあります。ですが今、私たちは自らの手でそれらを危機的な状況に陥らせています。

豊かな自然を次世代につなぐため、普段の生活のなかにある「自然」や「生物多様性」に関心を持ってください。さあ、このMAPを手にも、行動しましょう!!



(しまねの自然お宝MAPホームページ)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/infra/nature/shizen/shimane/otakara/>

## 島根県の「自然公園を活用した誘客促進補助金」を活用された団体の自然体験ツアーをご紹介します!

### 一畑薬師・漁師町小伊津 1DAYサイクリング



E-bikeに乗って、一畑電車の一畑口駅を出発し、雲州平田駅にゴールする約20kmのサイクリングツアーを実施。ガイドの案内で一畑薬師、立石神社に参拝し、小伊津の町並みを満喫しました。また、参加の皆さんには「自然環境保全協力金への寄付」にご協力いただき、清掃活動を行う地元団体へ寄付されました。

### ぐるっと三瓶 くにびきウオーク



秋晴れの中、総勢155名が三瓶山周遊コース(15km)と三瓶山中国自然歩道コース(6km)のウォーキングを楽しみました。途中、地元素材を使った豚汁や煮しめも振る舞われ、参加された皆さんも大満足。また、ガイドによる三瓶の生き物や植物の紹介もあり、三瓶山の魅力がさらに深まりました。

## 隠岐ユネスコ世界ジオパークの活動紹介

in 2021

～(一社)隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会の活動より～

### SDGsについての研修会を開催しました

令和3年11月17日(水)に隠岐の島町総合体育館において「島根県満喫プロジェクト地域部会研修会」を開催しました。「SDGs」をテーマとして、基調講演「SDGsの視点からの自然公園とジオパークの活用」、また隠岐高校での活用事例として「SDGsカード」が紹介されました。



### 「国連海洋科学の10年」に向けたキックオフイベントを開催しました

令和3年11月13日(土)、「『国連海洋科学の10年』に向けたキックオフイベント～海洋ゴミ問題in隠岐ジオパーク～」を開催しました。イベントでは、「国連海洋科学の10年におけるJGN<sup>※</sup>取組推進宣言」や、海洋事業の取組事例の発表、午後からは地元高校生と地域の皆さんで隠岐の島町塩の浜海岸での海岸清掃と、漂着ゴミの分析等を行いました。

令和4年11月上旬(予定)には、「国際海洋ゴミシンポジウムin隠岐ユネスコ世界ジオパーク」を開催する予定です。

※JGN=日本ジオパークネットワーク

#### 「海洋ゴミ」とは?

海岸に流れ着く「漂着ごみ」、海面・海中を漂う「漂流ごみ」などの総称で、その中で最も多いのはプラスチック製のゴミ(釣り糸、食品の容器、包装袋など)です。



日本ジオパークネットワークHP



# しまねの自然観察会

## 第1回 ユウスゲ観察会

7月10日(土) in 三瓶西の原

令和3年7月10日(土)に『ユウスゲ観察会』を実施しました。

当日は、幅広い年代の55名の方が参加され、講師に「大田の自然を守る」の伊藤会長をお招きし動植物の保護活動や地元小学生との取組をお話していただき、また三瓶自然館の井上さんによりユウスゲや西の原の植物について解説いただきました。

参加された方々は、三瓶山を背景にユウスゲの群落をかき分けるように歩きながら「本当キレイだね〜」「夕方に咲くのって不思議！」など話しながら、ゆっくり散策され三瓶山での夕方のひと時を楽しんでおられました。

ユウスゲとは、夕方に開花し翌日の昼には閉じるところが特徴。

以前は、山地のそこかしこに生えていましたが、近年、里山の植物として急激に減少しています。

令和3年度、島根県自然環境課では、県民の方々に自然観察会や自然体験を通して自然を身近に触れていただき、自然に対する興味関心の向上や生物多様性について理解していただくことを目的に、保護活動団体の皆さんにご協力いただき3回の自然観察会を実施しました。



## 第2回 水辺の生き物自然観察会

9月20日(月・祝) in 国宝松江城を囲む松江堀川

令和3年9月20日(月・祝)に『千鳥のお堀水辺の生き物自然観察会』を実施しました。

当日は爽やかな秋晴れに恵まれ、各回1時間、計4回の観察会で合計71名(うち子ども約40名)と多くの参加がありました。普段は入ることのできない松江城のお堀には、全国でも珍しい汽水環境での水辺の生き物が多く生息し、生き物調査を通じて楽しみながら自然に対する興味関心を高めることができました。

また、講師に公益財団法人ホシザキグリーン財団の寺岡さんをはじめ「穴道湖魚類研究会」の桑原弘道さん、穴道湖漁業協同組合の桑原正樹さんをお迎えし、投網の様子を見せてもらい堀川に住むヤゴやシジミを観察しました。その後、「千鳥のお堀を学ぶ会」の皆さんと共に藻刈りに取り組み、松江市内で外来種のミシシippアカミミガメの駆除に取り組む「まつえワニの会」の方の話聞き、外来種対策について理解を深めました。



## 第3回 里山自然観察会

10月23日(土) in 島根県立ふるさと森林公園

令和3年10月23日(土)に『ココロワクワク☆しまねの里山自然観察会』を実施しました。

当日は晴天に恵まれ、家族連れ19名の方々にご参加いただきました。

日本の里山は古くから二次的自然として人間により管理され、そこから得られる自然の恵みや恩恵を受けることで我々が生活できるといった「人と自然の共生」の姿が存在しました。しかしながら、近年では管理者の高齢化や生活用品の工業製品化等により管理不足が指摘され、里山の荒廃が課題となっています。

今回の観察会では「NPO法人もりふれ倶楽部」の代表で自然観察指導員でもある野田真幹氏による「里山を飲み込む竹」の講義や、フィールドでのネイチャートレイリング(クイズ等の課題をこなしながら楽しむ自然散策)を通じて、楽しみながら課題に向き合っていました。

参加者の方からは「これまで人と里山が助け合って暮らしてきたこと、今それが壊れつつあることがよく分かった。」など、里山の自然環境について親子で考える良い機会となりました。



里山自然観察会の様子は、  
Youtubeでご覧になれます。

2021年11月15日放送 #194  
「吉田くんのしまねゼミ」触れて引き継ぐ!しまねの自然

# 令和3年度 自然保護関係表彰受賞者の紹介（自然環境課）

## ■環境保全功労者に対する知事感謝状

松江市 稲田 宗さん

しまねレッドデータブック「絶滅危惧Ⅰ類」に選定され、島根県希少野生動植物保護条例指定種オニバスの保護育成者として、長年にわたり保護増殖を行うとともに、詳細な記録保持と移植環境の試行錯誤により生息環境の保全に努め、オニバス保護増殖の環境改善に大きく貢献されました。

## ■自然歩道関係功労者表彰〈自然環境局長〉

津和野町 千倉沼を守る会

10万株以上のチョウジソウが見られるほかハンノキ林、モリアオガエルなど希少な湿地性の動植物が生息する青野山県立自然公園地倉沼地区において、除草等美化活動、木道整備・修繕等に取り組み、毎年、自然観察会を開催するなど自然歩道の維持管理や普及啓発活動に尽力されました。

## ■自然公園指導員表彰〈自然環境局長〉

隠岐の島町 的射 憲一郎さん

環境省自然観察指導員として、国立公園隠岐地区都万園地を中心に、希少な植物の生育状況や外来種被害の拡大等に関する情報提供のほか、県外からの修学旅行生などに対し、観察会を通じて希少植物や隠岐諸島の成り立ちを説明するなど自然環境保護思想の普及啓発に尽力されました。

## ■地域環境保全功労者 環境大臣表彰

大田市 NPO法人 緑と水の連絡会議

国立公園三瓶山地区を中心に、地域と連携した西の原の草原環境保全活動や希少野生動植物の保全活動を実施し、地域の子供たちを対象に環境学習を行うほか、姫逃池における県天然記念物指定カキツバタ群落保全活動の一環として、外来種セイヨウスイレン駆除に貢献されました。

## ■「みどりの日」自然環境功労者 環境大臣表彰

出雲市 佐藤 仁志さん

日本野鳥の会島根県支部設立の中心メンバーとして尽力され、探鳥会や自然観察会の講師を務めるほか、審議会等の委員を務め、近年は県固有種であるイズモコバイモの保全のため守る会の設立に携わり、自然観察会を実施するほか多岐に渡る自然環境保護活動に尽力されました。

## ■島根県各種功労者表彰〈自然保護〉

奥出雲町 佐佐木 幸雄さん

環境省自然公園指導員、県自然保護レンジャー及び県自然解説員として、国定公園の船通山に生ずる希少種カタクリの保護活動や吾妻山の登山道環境整備、地域の子供たちに対する普及啓発活動、利用者に対しての自然解説や公園利用の指導など自然保護思想の普及啓発活動に尽力されました。

## ■島根県各種功労者表彰〈環境保全〉

益田市 NPO法人 アンダンテ21

高津川や益田川で水環境の意識向上に取り組み、島根県希少野生動植物保護条例指定種ヒメバイカモ及びカワラハンミョウの保全のためモニタリング・調査研究及び観察会で普及啓発を行い、地域住民や学校、企業などと一斉清掃活動を展開し、環境保全意識の向上に尽力されました。



## 三瓶自然館 春の企画展

## あなたのとなりのエイリアン

～島根の外来生物たち～

開催期間

3月19日(土)

～5月29日(日)



サビメルHP

**外**来生物(Alien species)とは、人間活動にともない外国から日本に持ち込まれた生き物のことです。侵入経路は様々で、アライグマはペットとして、オオキンケイギクは園芸植物としてやってきました。これらは野生化することにより、在来種を生息場所から追いやったり、捕食したりすることで生態系への影響が懸念されています。また、農作物の食害など私たちの生活にも影響が生じています。

今回の企画展では、島根県にはどのような外来生物が生息して、どのような問題が生じているのかを紹介します。その上で、これから先、地域の自然とどのように関わって行けば良いかを来場者に考えてもらう機会ともします。

展示物には、初公開となる県内で採取されたハクビシン剥製のほか、約60cmの大きさに拡大したウシガエルとアメリカザリガニの模型など、外来生物の標本を多数用いています。ぜひご覧ください。



オオキンケイギク

